

第2分科会

テーマ：環境整備事業等における工夫事例

No.	題名	地 方 ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				はっぴょうしゃ 発表者	所属部署		事業の概要
					河川の 流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※ 1		機 関	部・事務所	
1	川原川総合流域防災事業による「復興かわづくり」	東北	気仙川水系 川原川	補助(2級)	11.72 km ²	中小河川	150m ³ /s (W=1/30)	1	はらだ まさひと 原田 雅仁	岩手県	沿岸広域振興局土木 部大船渡土木セン ター	<ul style="list-style-type: none"> 川原川の歴史や景観に配慮し、人々の記憶に残る川らしい川を整備 公園計画と一体的な河川空間の整備（区間毎に水辺のテーマを設定） 公園内の回遊性を確保（潜り橋、階段工） 低低水路、バープ工、石積等を整備
2	一級河川湯川における多自然川づくりについて	関東	信濃川水系 (一)湯川	補助(1級)	212 km ²	中小河川	420m ³ /s		なかやま つよし 中山 剛	長野県	建設部 佐久建設事務所	<ul style="list-style-type: none"> 河川から公園へ連続性を持たせることにより、河川、公園、広戸橋を一体化した護岸整備
3	黒部川における魚類（サクラマス）の生息実態調査について	北陸	黒部川水系 黒部川	直轄(1級)	682km ²	大河川	5200m ³ /s (W=1/50)	1	たかむら なおゆき 高村 直幸	北陸地方整備局	黒部河川事務所	<p>黒部川は、急流河川であり、洪水時のエネルギー、土砂流出が大きく、動植物が生息するには厳しい環境である。黒部川では魚類の生息・生育できる水環境を復元するため、まずは、黒部川の生息環境上、困難性の高いサクラマスを指標種として、生息環境を把握する為の調査を実施している。</p>
4	阿賀野川自然再生計画における浅場再生の検討について	北陸	阿賀野川水系 阿賀野川	直轄(1級)	7710km ²	大河川	11200m ³ /s (W=1/30)	2-2	よしだ はるか 吉田 遥	北陸地方整備局	阿賀野川河川事務所	<p>阿賀野川河川事務所では、平成25年度より阿賀野川自然再生事業を実施しており、令和4年度からは、中期的計画の整備に着手し、沢海地区(阿賀野川左岸15.8k付近)の浅場の再生に取り組んでいる。</p>
5	河川改修・災害復旧による琵琶湖河口への供給土砂量減少河川における湖岸保全再生	近畿	淀川水系 琵琶湖					3	かたやま だいすけ 片山 大輔	滋賀県	流域政策局	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖に流入する鴨川では災害助成事業により大規模な河川改修を実施し、その目的を達成したが一方で掃流力低下により琵琶湖への供給土砂が減少。 結果、湖岸の砂浜侵食が著しく進行していることから、良好な湖岸環境の再生を目指した湖岸保全再生について考察する。
6	吉井川河口部における干潟保全に向けた調査検討	中国	吉井川水系 吉井川	直轄(1級)	2110 km ²	大河川	7,350m ³ /s (W=1/60)	3	まつい だいき 松井 大生	中国地方整備局	岡山河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> 河口部干潮域において、昭和20～30年代の河川整備によって、干潟・ヨシ原が消失。今後の干潟再生の取組に向けて、河床変動解析を用い、水制工の設置の効果、2つの洪水規模による土砂堆積状況を検討。
7	「芹川 かわまちづくり」における取り組みについて	九州	大分川水系 芹川	補助(1級)	73.8 km ²	中小河川	370m ³ /s (W=1/10)	M	ながの ともひこ 長野 友彦	大分県	竹田土木事務所	<p>温泉街と河川が一体的となる河川環境整備を実施することで、河川空間の賑わいの創出を図る。</p>